

平成26年度予算見積調書

課室名：自然の博物館

担当名：総務担当

内線：

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B120	自然の博物館管理運営費			一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	自然と川の博物館費	
事業期間	昭和56年度～	根拠法令	埼玉県立自然と川の博物館条例			戦略項目			
						分野施策	050101 文化芸術の振興		
1 事業概要 県民の自然(生物、地質等)への興味や関心を高め、望ましい自然感、郷土愛を育む。また、郷土の多様な自然とその生いたちに関する資料を後世に残し、博物館の基礎的な価値を高める。 そのため、施設・設備等を適切に維持管理し、自然資料の調査、収集、保存、展示、教育普及を実施する。 (1) 自然の博物館管理運営費 6,979千円 (2) 館有資料の整理・標本作成 637千円 (3) 寄贈資料の整理・保管 8千円 (4) 標本の鑑定・評価 182千円 (5) 触察用動物剥製製作委託 438千円 (6) 展示 6,600千円 (7) 教育普及 1,421千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 自然の博物館管理運営費 6,979千円 受付職員1人の配置、樹木・設備の保守管理、展示室の環境調査、収蔵庫の燻蒸、公用車(3台)の維持管理等 イ 館有資料の整理・標本作成 資料収集旅費、標本作成等消耗品 637千円 ウ 寄贈資料の整理・保管 寄贈資料の整理・保管用消耗品 8千円 エ 標本の鑑定・評価 標本鑑定の謝金(26人) 182千円 オ 触察用動物剥製製作委託 触れる剥製の製作委託 438千円 カ 展示 展示の改修、展示物の製作 6,600千円 キ 教育普及 観察会等(15回)の旅費、消耗品、事業案内、研究報告の作成 1,421千円 (2) 事業計画 ア 自然の博物館管理運営 入館者に安心、安全に観覧できる施設の維持管理をするとともに、開館以来蓄積している資料を損なわないよう収蔵庫等の適正な維持管理をする。 イ 資料の収集・整理・評価 約3,000点の資料を収集し、整理、評価、保管する。 ウ 展示 特別展示((仮称)恐竜時代～海と陸の支配者たち(6月から10月)、企画展示((仮称)新収集品展(3月から))等(年3回)の実施、季節展示コーナーの見直し(年5回)、常設展示(体験ゾーン)の見直し(4半期毎) エ 教育普及 観察会(10回)、自然講座(8回)、アドバンスド講座(2回)の実施(月1～2回)、学校等への館内、館外で学習支援 (3) 事業効果 ア 入館者数 平成20年度 64,871人、平成21年度 63,620人、平成22年度 56,094人 平成26年度 65,000人(目標) 平成23年9月1日から平成24年10月5日まで大規模改修のため休館 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 自然系博物館への興味ある県民を活用し、資料整理、展示解説ボランティアを設置 イ 長瀬町観光協会と連携し、ミュージアムカレンダーの作成 ウ ジオパーク秩父(秩父まるとジオパーク推進協議会(事務局は秩父市))と連携し、企画展示の実施					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細目)社会教育施設費 (積算内容)博物館費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×20.0人=190,000千円									
財 源 内 訳									
予算額		使用料及び手数料	財産収入	諸収入				一般財源	前年との対比
決定額	16,265	5,696	412	229				9,928	4,885
前年額	11,380	5,256	82	120				5,922	